

市役所新庁舎 建設基本計画の概要

川口市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会から8月19日に基本計画の答申がありました。今後はこの基本計画に基づき、基本設計の策定に向け、事業を進めていく予定です。今回はこれまでの経緯と基本計画の内容を説明します。



新庁舎建設の検討経緯

昭和63年…庁舎建設基金を設置し、積立開始
平成18・21年…本庁舎の耐震診断実施

(結果) 耐震安全性を満たしていない。

平成21年5月…費用面や機能面など費用対効果を考察した結果、今後耐震補強工事ではなく、建替えの方向で検討することとした。

平成24年11月～25年8月…川口市庁舎建設審議会にて建設地を審議。候補地は「現本庁舎敷地並びに現市民会館及び同事務棟敷地」または「SKIPシティC街区敷地」

(答申) 総合的に判断して、SKIPシティC街区の方が優れている。ただし、歴史的経緯や市民の思いなどをどのように斟酌するかは、最終的には市長、議会の判断に委ねるとされた。

平成25年12月…前岡村市長は建設地を「まちづくりの観点」、「防災拠点性及び建設コストの観点」、「議会での議決に関する観点」の3つの理由から、「現本庁舎敷地並びに現市民会館及び同事務棟敷地」と決断し、議会上程

(結果) 賛成多数で可決。

平成26年6月…川口市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会(会長 尾島俊雄早稲田大学名誉教授)にて、基本構想、基本計画について審議開始

平成27年2月…川口市新庁舎建設基本構想の答申

平成27年8月…川口市新庁舎建設基本計画の答申



基本計画の答申

建替えの進め方

○第1期工事

市民会館を解体し、1期棟を建設。完成後は本庁舎の機能を全て移転。

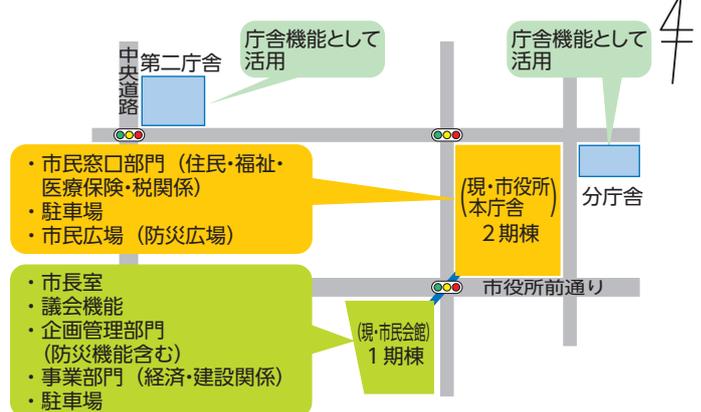
○第2期工事

本庁舎を解体し、2期棟を建設。完成後は市民窓口部門を配置し、市内に分散している庁舎機能の一部を1期棟・2期棟に集約します。

新庁舎建設スケジュール (予定)

概要		平成27年度 2015	平成28年度 2016	平成29年度 2017	平成30年度 2018	平成31年度 2019	平成32年度 2020	平成33年度 2021	平成34年度 2022	平成35年度 2023
基本構想・基本計画		■								
基本設計・実施設計			■	■		■				
都市計画変更手続き等			■	■			■			
工事	市民会館敷地 (1期棟)		■ 解体工事		■ 1期棟建設工事					
	本庁舎敷地 (2期棟)						■ 解体工事	■ 2期棟建設工事	■	■

〈庁舎配置イメージ〉



引き続き経費の削減に努めます

・床面積削減のため、第二庁舎などの既存庁舎をできるだけ活用します。
・鳩ヶ谷庁舎は、支所・保健所・保健センターなどに活用します。
・今後も事業の精査を行い建設費削減に努めます。

災害に強い庁舎へ

・大地震発生後速やかに災害対策本部が機能するようにします。
・水害に備え、重要な設備機器などは上階に配置します。

基本計画の詳細は、市ホームページをご覧ください。